

城北まちづくり通信

2020/07/15

2号

城北まちづくり協議会
事務局：城北地区公民館

元気で、楽しく、心地よく、住んでよかったと実感できる城北へ！

城北のまちづくりを、4つの専門部で進めています。今号では、『福祉・健康部』の事業“集団検診”について紹介します。

「脳卒中」・「心筋梗塞」・「がん」といった生活習慣病の予防のためには、定期的な運動、バランスのよい食事、禁煙といった生活習慣を心がけ、実践していくことがまず第一に重要です。しかし、自分自身がしっかりとした生活習慣を心がけているつもりでも、これら生活習慣病は、自覚症状がないままに進行している場合があります。そのため、次に大切となってくるのが、定期的な特定健診とがん検診の受診によって、自分自身の健康状態を知ることです。

[平成25年度特定健康診査受診率]

鳥取県：42,4%

城北地区：24,0%

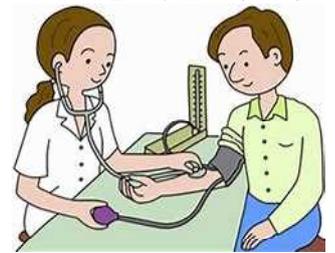
ところが近年、城北地区の健診(検診)受診率は低い状況にあり、健康意識を高めることは喫緊の課題となっています。

鳥取市(保健事業)でも、健康づくり地区推進員や食育推進員などの地域組織と協働して、受診率向上に取り組むこととなっています。

そこで、市と地域組織をつなぐ『まちづくり協議会』として、「集団検診」を事業展開することを福祉・健康部で協議し、地域が一体となって活動することとしました。市より財政的支援【☆集団検診(70,000円)☆健康啓発チラシの作成(60,000円)】を受け、平成26年度から事業展開してきています。

その後、城北地区の健診受診率は、

“26年度：28,6%・30年度：31,3%”と徐々に上がり現在に至っています。



鳥取市の平成28年度の生活習慣病の医療費(鳥取市国民健康保険保健事業：平成30年3月)で比較すると、健診を受けている人の一人当たりの医療費が85,403円に対して、受けていない人は109,149円と高くなっています。また、「高血圧症」、「脂質異常症」、「糖尿病」の3疾病併存の一人当たりの医療費も、健診を受けている人は497,405円に対して、受けていない人は900,902円で2倍近い開きになっています。

健診を受けている人の中には、元々健康で健康意識が高く、自ら受診に至ったり、早めの受療に繋がったと考えられるため、すべてが“健診効果”と言う推測には無理があります。しかし、健診(検診)を受診することで「健康意識」を生み、この意識が定期的な受診行動を促していることは間違いないと考えます。

健康なからだであり続けるには、「健康意識」を高め、まず自分の生活習慣を見直すことから始まります。運動不足や不適切な食生活を漫然と継続した結果、生活習慣病の発症を招き、そして、通院・投薬へとつながり、その改善が無いまま、「脳血管疾患」や「虚血性心疾患」に至るという状況を引き起こす例は少なくありません。重症化する前の少しでも早い段階で健診(検診)と、予防に心がけ、病気と上手に付き合っていくことが重要となります。

城北地区住民の、「健康意識」を高める取り組みの一つとして、集団検診を今後も“まちづくり協議会”の継続事業として実施したいと考えています。

集団検診(特定健診・健康診査・がん検診)

○日時 令和2年7月21日(火)

*受付時間：ブロック別

○場所 城北地区公民館

*申込期間は6月30日までで、すでに終了しています。